

壁に付けられる家具・フレーム（共通）取り付け時におけるチェックポイント 保存用

※取り付けの際は、別紙「組立・取扱説明書」をよく読み正しく取り付けてください。

⚠️ ピン取り付けの際のお願い



取り付けの前に必ずお読みください。

必ず下記の内容をご確認の上、取り付けを開始してください。
 ピンの取り付けに不備があった場合、本体や収納物が落下する恐れがあります。

○	×	取り付けのポイント
		ピンの先端が1~2mm開いた状態で刺し込んでください。
		矢印の向きを真上に向けて刺し込んでください。
		ピンを壁に向かって垂直に刺し込んでください。

× 一度刺し込んだピンの穴に、もう一度ピンを刺し込まないでください。

※ピンが刺さらない場合には、その周辺での使用はお避けください。少し離れた場所での使用をおすすめします。

× 変形したピンは使わないでください。

※一度刺したピンは変形が生じる場合がありますので、よくご確認の上、ご使用ください。

⚠️ ご使用前に必ずご確認ください



取り付けの前に必ずお読みください。

必ず下記の内容をご確認の上、使用を開始してください。
 本体の取り付けに不備があった場合、本体や収納物が落下する恐れがあります。

○	×
まっすぐ水平に取り付けがされているか、ご確認ください。	
(イラスト例：箱)	
壁との間に隙間がないか、ご確認ください。	
(イラスト例：棚)	
ぐらつきがないか、ご確認ください。*	
(イラスト例：長押)	

イラストは、それぞれ例を用いています。

全てのアイテムで確認項目は共通ですので、お買い上げの商品と上記のイラストの形が異なる場合もすべての項目を確認してください。

※壁に付けられるフレーム・A5および、はがきサイズ、壁に付けられる家具・フックは除く。

壁に付けられる家具・フレーム（共通）ご使用時における注意事項 保存用

※取り付けは、別紙「組立・取扱説明書」をよく読み、正しく取り付けください。また、別紙「取り付け時におけるチェックポイント」も合わせてお読みください。

⚠️ ご使用上の注意

固定ピンは先端が非常に鋭利ですので取り付け時には
 思わぬケガに注意をして、お取り扱いください。

- 耐荷重を必ず守って下さい。また端部に偏った荷重を掛けないでください。
- 耐荷重は目安です。取り付けの状態によって本来の強度が得られない場合があります。ぐらつき等の異常がないことを確認の上、ご使用ください。
- 手をつくなど本体へ負荷をかける行為はしないでください。
- 下から持ち上げるような力を加えないでください。本体が専用フックから外れて、落下する危険性があります。
- 貴重品やこわれやすい物をのせないでください。
- オーディオスピーカーのような振動するものは置かないでください。取付部分の緩みの原因になります。また洗濯機などの振動する機器のそばには取り付けしないでください。
- 幼児やペットの手が届くところへの取り付けはしないでください。
- 専用固定ピン頭部の三角印は必ず上に向けて押し込んでください。
- 専用固定ピンは専用フックの全部の穴に根元まで確実に取り付けしてください。
- 専用固定ピンのピン先は尖っているので、人体に刺さないように注意してください。
- 専用固定ピンは石こうボードの壁専用です。吸音ボードには取り付けしないでください。石こうボード以外は一切使用できません。
- 取り付けは、平らな垂直の壁に取り付けてください。凹凸や傾斜のある壁では正しく取り付けることができず、強度低下や専用フック、本体、収納物の落下等の恐れがあります。
- 取り付けの際、「取付用ガイド」を使用し、本体が斜めに取り付かないよう十分ご注意ください。
- 取り付け後は、緩みや隙間がないことを確認の上、ご使用ください。
- 定期的に取り付け状態を点検し、本体及び専用固定ピンや専用フックの固定がゆるくなった場合には、場所を替えて付け直してください。特に地震の後や長期間使用した場合は、緩んでいる可能性がありますので、必ず点検してください。
- 同じ箇所へ専用固定ピンを刺し込まないでください。十分な強度を保てない恐れがあります。
- 壁に取り付けた専用固定ピンを絶対にねじらないでください。ねじると穴がくずれる原因となります。
- 変形、破損した専用固定ピン及び専用フック、本体は使用しないでください。
- 専用固定ピン及び専用フック、本体を改造しないでください。
- 各パーツは、「壁に付けられる家具」専用です。本品以外での使用はお止めください。
- パーツ保管の際は、幼児やペットの手が届かないところに保管してください。
- 取り付けが正しくない場合の事故は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 火気や熱源のそばに設置、保管しないでください。
- 本来の用途以外では使用しないでください。
- 本体の反りや割れ、変色などの原因になりますので、下記のような扱いはしないでください。
 - ・直射日光やストーブの熱が当たるなど高温となる場所に取り付けしないでください。
 - ・湿気の多い場所での使用や濡れたものは置かないでください。
 - ・エアコン等の風が当たる場所など、極端に乾燥する場所へ取り付けしないでください。
 - ・弱酸性、弱アルカリ性の液体やアルコール、シンナー等は使用しないでください。

石こうボードとは？

- 現在の戸建て住宅やマンションでは浴室以外の多くの壁が不燃を目的とした石こうボードを使用しています。
- 石こうボードの見分け方
 石こうボードの壁は表面がビニール素材のクロス張り一般的なです。画びょう等を刺して、抜いた時に白い粉がつくことを目安にしてください。

専用固定ピン・専用フックの取り扱い

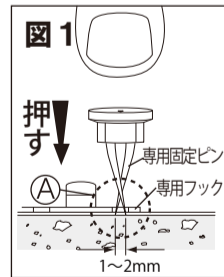
○専用固定ピンの取り付け

図1 Aのように専用固定ピンの交差した針の先端が1~2mm開いた状態で、石こうボードの壁に直角方向に専用固定ピンを指で押し込むだけで取り付けられます。(図1)

石こうボードが固く感じる場合には、脱着工具を使うと押しやすくなります。(図2)

○専用フックの取り付け

図3のように専用フックを石こうボードの壁にあてがい、専用固定ピンの頭部の△印を上に向けて専用フックの穴にピンを通して、根元まで押し込んでください。



専用固定ピンの先端が開いた状態で壁に入ったのを確認してから専用固定ピンに脱着工具をセットして強く押し込んでください。



専用固定ピンの先端は石こうボードの中で開く仕様になっております。



専用固定ピン頭部(正三角印)を上向きに

○専用固定ピンの取り外し

専用固定ピンの頭部を指でつまみ、壁面と直角方向に、ねじらないで引き抜いてください。(図4)

取り外しが固い場合には、脱着工具を使うとゆるくなります。(図5)

